

学習指導案

指導日時	令和3年10月22日	科目名	情報技術基礎	単位数	2単位
学年・学科	1学年・電子機械科	教科担任	黒木 允晴		
使用教材	教科書	オーム社 情報技術基礎			
	補助教材				
単元名	4.2 Cプログラミング(3)				
本時の目標 (ねらい)	直線処理プログラムの基本型について理解する ・変数の型宣言と演算、表示桁の丸め方 ・データの入出力の方法				
段階	指導内容	生徒の学習活動	指導上の留意点		
導入 (5分)	復習 (printf)	<ul style="list-style-type: none"> 復習課題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と課題について説明する 前回作成したプログラムを活用することを指示する。 わからない部分については、周囲の協力を得ることを伝える。 		
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> 四則演算 桁の丸め方 データの入出力 (scanf) 	<ul style="list-style-type: none"> 四則演算プログラム、桁の丸め方、データの入出力についての説明を聞き、プログラム作成課題について取り組み、データを提出する。 (配布プリントのフローチャート作成にも取り組む) 各課題について、実行して正しく動作することを確認する。エラーが出た場合はデバッグを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン操作等、わからない部分については、周囲の協力を得ることを伝える。 課題取り組み時には、巡回して質問を受け付ける。 プログラム実行時のエラーには時間をかけずに、わからなければすぐに申し出ることを伝える。 		
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りを行い、直線処理について理解できたことをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が見てもわかりやすく、色分けするなど、きれいにまとめるように指示する 		

○本時のルーブリック(上位は下位を含む)

評価	S	A	B	C	D
課題	無駄やミスがなく、注釈を入れるなど、誰が見てもわかりやすいプログラムである	正確な実行結果が得られ、見やすく工夫された内容である	正確な実行結果が得られる内容である	実行結果が得られ、全てのデータを提出することができる	Cに達しない
ノート	色分けするなど誰が見てもわかりやすくまとめ、独自に関べたことなどを交えて考察を加えるなど工夫が見られる内容である。	本時の内容のすべてを丁寧かつきれいにまとめることができ、誰が見ても活用できるものである。	本時の内容を丁寧にまとめることができ、活用できる内容である。	本時の内容をまとめることができ、提出することができる。	Cに達しない